

第13回 マニフェスト大賞 プレゼン資料

山梨県 甲府市議会
会派 公明党
甲府市議会議員 佐野 弘仁

地方議会での議員ローカル・マニフェストの実践 ～LMマネジメント、発言管理を可視化で推進～

- ・ 「**LM** を掲げる！」 選挙の 必要性 ～ LM 推進を、より具体化させるため～
- ・ ① **LM** を、候補者が住民に正しく、解り易く公開する「**アイテム**」が必要。
- ・ ② **LM** を推進・実現するための「**マネジメント システム**」が必要。
- ・ ③ マネジメントシステムを運用していくための「**フロー**」が必要。
- ・ ④ **LM** をマネジメントした「**達成度確認**」が必要。
- ・ **LM** について目指すべき、「**ありたき姿**」

2018/11/09 現在

「LM を掲げる！」選挙の必要性

～ LM 推進を、より具体化させるため～



「LMを掲げる必要性」 民意の確からしさの確認

- 現状は「候補者情報の不足を感じる！」が、約50%（図1）
- 「マニフェスト必要」と7割が回答。候補者の「実行力・行動力」「政策・提言」を最も重視（図2）する。
- 住民の求めるマニフェスト項目「目標」「実現したい政策」知りたいは、8割以上。

調査概要

- 2014年7月16日～18日
- LM推進地方議員連盟
- インターネットリサーチ
- 全国の男女有権 1,122人
- 20～60歳以上の6段階毎、約200回答収集
- 出典： マニ研 資料

「実行力・行動力」、「政策・提言」を重視。

あなたが選挙で投票をする際に、候補者を選ぶ理由は何ですか。（Q7）

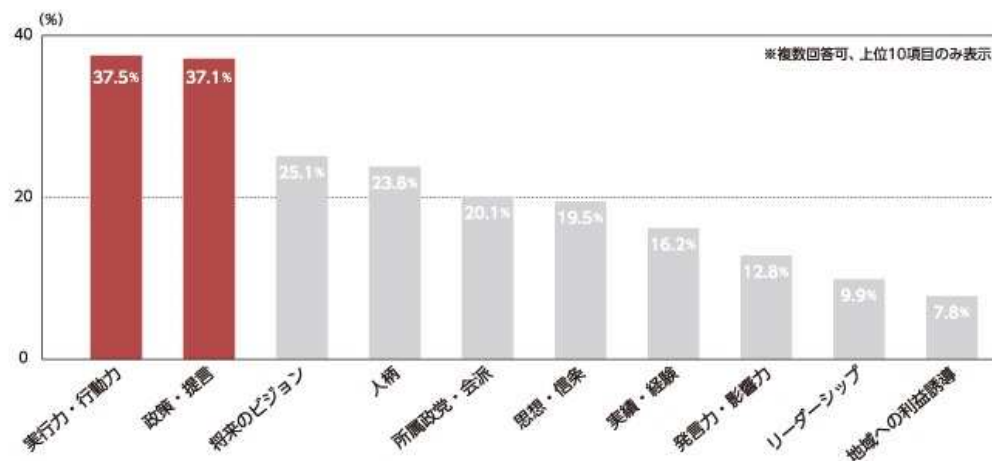


図2：有権者が候補者を選ぶ理由：資質・能力編



出典：「第17回統一地方選挙全国意識調査—調査結果の概要—」（明るい選挙推進協会、2012年）

図1：候補者情報の不足を感じる有権者の割合

LM を掲げる選挙の要件

- LMを掲げる選挙の方向性として、**町村を除く議員の政策ビラ頒布が、法定で2019年3月1日から実施されること。**（参法 第193回国会、衆第21号 公職選挙法の一部を改正する法律案に拠る。）また各自治体でも、これに向け条例制定が行われていること、民意の「確からしさ」からもLMは必要となる筈。
- この改正法の「理由」記載には、
「**都道府県又は市の議会の議員の選挙において、候補者の政策等を有権者が知る機会を拡充**するため、候補者が選挙運動のためのビラを頒布することができることとする等の必要がある。これが、この法律案を提出する理由である。」と記載されており、この主旨から政策が可視化されるLMが必要と言える。
- **民意の確からしさから、また法定の主旨からも、住民に対し候補者の約束が政策として可視化されると主権者には分かり易い。また、候補者の誰に投票するのが最適か？を、分かりやすくさせる政策の選択として必要となる。**

このことから、候補者間で競い合うための善政競争選挙に必要なアイテムとして LM を住民のための政策選択選挙のための要件とすべきである。

LM 推進を、より具体化させるため

- LM策定はどうすれば良い？ LMを策定した後の進め方、やり方が分からない？このままではLMが形骸化しそうでもある。そこで、LM実施に向け、システムチックな管理のため以下の工程設計が必要。

① LMを正しく、解り易く、住民に伝えるための「アイテム」が必要。

② LM を推進・実現するための「マネジメント システム」が必要。

③ マネジメントシステムを運用していくための「フロー」が必要。

まず、はじめに

① LMを正しく、解り易く、住民に伝えるための「アイテム」が必要。



住民が候補者を選択する選挙とは、
あくまでも議員を選挙で選ぶということ。

議員候補者が何を考え、どの様な政策で、
住民福祉向上を目指しているか？
有権者には重要なこと。

このためLMを候補者は、住民に対し正しく、
解り易く伝えるための「アイテム」が必要。

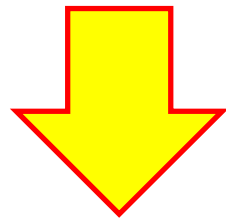
①LMを正しく、解り易く、住民に伝えるための「アイテム」が必要。

Part 1

会派 LM 項目のなかから、実施すべき政策課題として選び「具体的政策」として施策立案する。

分かりやすさが重要なため「アイテム」として2015「マニフェストSW 甲府」共通フォーマットを使用し、個の議員が掲げるLMとして策定した。

**始めに、会派所属議員の
LM 策定について**



= 会派 LM から始まる LM 策定手法 =

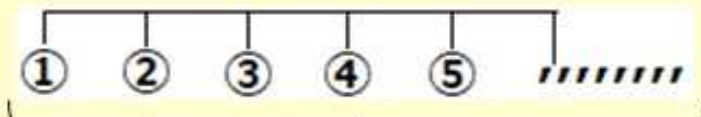
会派LM策定 ⇒ 議員LM策定 チャート図

「会派LM項目」から選定する「議員LM策定」のチャート図

会派で熟議した上で政策項目を決め、議員が地域毎に政策項目についての意見や要望の調査を実施する。
調査結果を会派内で熟議を重ね、「会派LM項目」を策定する。



<会派LM項目>



策定された会派LM項目のなかから、個の議員が<会派LM項目>の中から政策項目を選び、協議の上、個の議員が進める実施項目として推進、実施をさせていく。

熟議され、決定された会派LMから、選定した「議員LM」項目の実施。



<議会政策サイクルへの作働フロー>

会派での構成議員は二人以上であることから、会派で熟議をされた「会派LM項目」については、一つの意見に対する民意の聴取も、一人より、幅広い多くの意見や要望を汲み取ることができる。
政策集団会派の議会に対する発言は重く、LM策定のチャートプロセスとして必要。

**具体的に「アイテム」を使用し、
LM策定の推進で、検証を実施**

「2015 甲府市議会 会派 公明党」 LM 項目

【 甲府の未来ビジョン 】

「会派LMと連動させ、
議員 LM 項目」とする。

① 《 高齢化社会に向けて》 ○地域
包括ケアシステムの適切な構築

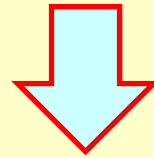
② 《 地方創生に向けて》 ○子ども
を生ま育てやすい環境づくり

・会派 LM 2 項目を選定し、個人の
具体的な LM 項目として「**マニフェス
ト SW 甲府**」での、重要政策 (1) 、
(2) として掲げた。

甲府の未来ビジョン

- ① 《高齢化社会に向けて》
 - 地域包括ケアシステムの適切な構築
 - 一人暮らしの高齢者の見守り体制の強化
 - 高齢社会に対応した交通システムの充実
 - ② 《地方創生に向けて》
 - 子どもを生ま育てやすい環境づくり
 - ・ 産後ケア体制の充実
 - ・ 新婚世帯の定住支援
 - ・ 子ども医療費無料化の対象年齢の拡大
 - ・ 放課後児童クラブの対象年齢の拡大
- 《リニア開業に向けた活力あふれる地域づくり》
- 活性化に向け頑張る地域への支援
 - 増え続ける空き家問題への適切な対処
- 《安全安心な地域づくり》
- 要援護者のための避難所の一層の充実
 - 防災会議への女性登用の拡大
 - 災害時の緊急輸送道路の安全確保
 - ゲリラ豪雨対策の充実

「会派LM項目」



「マニフェストSW甲府」

- 1, 「会派LM項目」と「マニフェストSW甲府2015」
「解決したい課題」から「重要政策立案」への
「会派LMとの連動性」
- 2, 「マニフェストSW甲府2015」で示す、
「議員個人LM」策定プロセスの実施例。

始めに、会派 LM 項目 → 「マニフェスト SW 甲府」 内項目、
「解決したい課題」との連動性を整理

会派 LM ① 政策項目では

【<<高齢化社会に向けて>>

○地域包括ケアシステムの適切な構築】とされている。

これを【2015 「マニフェスト SW 甲府」】での

「①地域包括ケアシステム甲府市 Verとして、きめ細やかな構築と
制度充実が必要」として政策課題に挙げた。

会派 LM ② 政策項目では

【<<地方創生に向けて>>

○子どもを生き育てやすい環境づくり】とされている。

これを【2015 「マニフェスト SW 甲府」】での

「②若者が住みやすい甲府市定住化策と、子ども子育て施策を充
当した福祉政策を盛り込んだ形の中心市街地活性化策も重要」
として政策課題に挙げた。

会派 LM 項目 → 【マニフェストSW甲府「解決したい課題 No1 から重要政策（1）」】の連動性

○会派 LM ①政策項目である

「〈 高齢化社会に向けて 〉

○地域包括ケアシステムの適切な構築」を、



○マニフェストSW甲府「解決したい課題」とし、

- ①地域包括ケアシステム甲府市Verとして、きめ細やかな構築と制度充実が必要。とした。



○マニフェストSW甲府「解決するための重要政策（1）」とし、

- 甲府市版「地域包括ケアシステム」構築。生活に関わる買物難民化、地域医療、日常の見守り、認知症介護、介護支援など、現場からの意見を良く取り入れた形での細やかな構築を行う。高齢者が住み慣れた街で何時までも、元気で歳を重ねて暮らしていただけることを可能とできる様に、しっかりとした運用を急ぐ。とした。

会派 LM 項目 → 【マニフェストSW甲府「解決したい課題 No2 から重要政策（2）」】の連動性

○会派 LM ②政策項目である。

「〈 地方創生に向けて 〉

○子どもを生き育てやすい環境づくり」を、



○マニフェストSW甲府「解決したい課題」とし、

- ②若者が住みやすい甲府市定住化策と、子ども子育て施策を充当した福祉政策を盛り込んだ形の中心市街地活性化策も重要。とした。



○マニフェストSW甲府「解決するための重要政策（2）」とし、

- 若者の中心市街地への定住人口増加策、若年世帯が街なかへ住む場合の減免や優遇措置の構築。子育てを目的に誰もが集える街なか拠点「子ども子育て支援センター」などの整備充実と拡充を図る。市全体の子育て世帯へは、国の制度を利活用し甲府市として出産時から子育て期間中の夫婦世帯への子育て支援制度の拡充を行う。とした。

独自の LM 項目 → 【マニフェストSW甲府「解決したい課題 No3 と、重要政策（3）」】

○会派 LM とは別に、調査結果から個人 LM 政策項目を策定。

「<がん教育授業の完全実施>

○専門的知見の活用、外部講師による授業の実施」を、



○マニフェストSW甲府「解決したい課題」とし、

- ③ガンは2人に1人が罹る国民病、ガンを正しく知り、小さい頃から「命の大切さを教える授業」で、正しい知識を教えて行く。とした。



○マニフェストSW甲府「解決するための重要政策（2）」とし、

- 国の検討も開始、学校におけるがん教育として、「健康と命の大切さを育むという視点で取り組む」としている。甲府市に於いても「命の大切さを教えるがん教育授業」を早期実施し、ガンを克服された方々の体験談や、外部講師の方々を主軸に甲府市でも実施に向け推進し、もってガン予防措置対策の一環とする。とした。

15年3月策定

● **会派LM**と、**個人LM**で掲げた政策項目と「解決したい課題」の連動性を示す。

● **会派 LM との連動。**

① ≪高齢化社会に向けて≫

○地域包括ケアシステムの適切な構築

② ≪地方創生に向けて≫

○子どもを生き育てやすい環境づくりを「解決するための重要政策として(1)(2)に具体的な政策項目で立案、LMとした。

● **個人 LM を掲げる。**

「解決するための重要政策(3)」は、**独自政策項目を個人 LM**として選定

山梨県：甲府市 佐野弘仁

基本データ

マニフェスト種別 : 市議会議員マニフェスト
対象の選挙区 :
ファイル :
当選の検証 : 検証する
オープンデータ化 : 許可する

政策注力分野



基本的な考え

政治を志した理由 ▶ 住民大衆の「為」を目指し、制度の狭間で悩む人がいるならば、その小さな声を聞き、より良い住民福祉に資する市政向上の推進や、制度の拡充、補助拡大を実現したい。常に軸足を大衆の側に置き、実現力、政策推進能力を備えた政治家になりたいと決意した。

地域でやりたい姿 ▶ 極端な高齢化社会と少子化時代に対応させ、安心・安全なコミュニティとしての住みやすい、住んで良かったと言える地域を再生すること。小学校区を核に、子育てがし易く、衣食住、医療介護まで集約されたコンパクトシティとして、子どもから高齢者の方までが「住みやすい地域」とすることが「ありたい姿」と考えている。

解決したい課題 ▶ ①地域包括ケアシステム甲府市Verとしてきめ細やかな構築と制度充実が必要。②若者が住みやすい甲府市定住化策と、子ども子育て施策を充ちた福祉政策を盛り込んだ形の中心市街地活性化策も重要。③ガンは2人に1人が罹る国民病、ガンを正しく知り、小さい頃から「命の大切さを教える授業」で、正しい知識を教える。

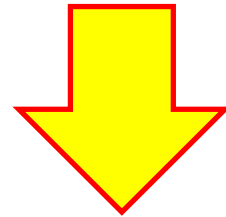
具体的な政策

解決するための重要政策(1) 甲府市版「地域包括ケアシステム」構築。生活に関わる買物難民化、地域医療、日常の見守り、認知症介護、介護支援など、現場からの意見を良く取り入れた形での細やかな構築を行う。高齢者が住み慣れた街で何時までも、元気で歳を重ねて暮らしていけることを可能とできる様に、しっかりとした運用を急ぐ。
- 1.医療政策
- 2.介護支援
- 45.市民参画・協働

解決するための重要政策(2) 若者の中心市街地への定住人口増加策、若年世帯が街なかへ住む場合の減免や優遇措置の構築。子育てを目的に誰もが集える街なか拠点「子ども子育て支援センター」などの整備充実と拡充を図る。市全体の子育て世帯へは、国の制度を活用し甲府市として出産時から子育て期間中の夫婦世帯への子育て支援制度の拡充を行う。
- 15.少子化対策
- 16.子育て支援
- 39.中心市街地活性化

解決するための重要政策(3) 国の検討も開始、学校におけるがん教育として、「健康と命の大切さを育むという視点で取り組む」としている。甲府市に於いても「命の大切さを教えるガン教育授業」を早期実施し、ガンを克服された方々の体験談や、外部講師の方々を主軸に甲府市でも実施に向け推進し、もってガン予防措置対策の一環とする。
- 17.教育政策
- 1.医療政策

個の議員の LM 策定



= 市民要望から始まる 議員LM 策定手法 =

住民要望 ⇒ 議員LM策定 チャート図

住民要望、課題調査から選定する「議員LM策定」のチャート図

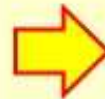
議会報告会等、地域の意見や要望各階層からの意見聴取を実施。住民要望聴取全市の課題調査のなかの「住民の声」から政策課題を抽出し「会派LM項目」を策定する。



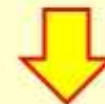
「住民の声」のなかから住民要望の多いものを中心に、各議員が策定する「議員LM」で、「政策、施策、事務事業」項目の選定を行う



＜個の議員＞ 偏りなく万遍に広く、地域、各層別に市民の「声」を聴き、実施項目として選定すべき住民福祉向上に資する項目を議員個人のLM項目として実施する。



＜会派所属議員＞ 議員個人での調査は、偏りなく万遍に広く、各層別での「声」を聴く。この声から住民福祉向上に資する実施項目として選定すべき項目を、会派で熟議後、議員個人のLM項目として実施する。



＜議会政策サイクルへの作働フロー＞

議員個人のLMであっても「住民の声」のなかに在る「困りごと」、関わり有る地域、各階層の聴取の声の集約の結果で有り、少数意見であっても、主権者の声、民意を議会に反映する責務が議員にある。

① LMを正しく、解り易く、住民に伝えるための「アイテム」が必要。

Part 2

始めに全国共通フォーマットを使用し LM を掲げること。
もう一つは、欲張っても、多く頂く住民要望で重要な項目を
「重点施策」として 達成必要な項目を、
議員 LM として別に掲げ、推進して行くことが重要と考える。

住民の声を起点にした要望、政策課題を
「重点施策」として LM で掲げる。

2015年度 「佐野弘仁 重点施策」 LM 8項目

右クリック「ハイパーリンクを開く」で、ジャンプします。

<http://www.komei.or.jp/km/kofu-sano-hirohito/%E6%8E%A8%E9%80%B2%E8%AA%B2%E9%A1%8C/>

(1) 甲府市立遊亀公園並びに附属動物園整備を推進します。

◎現在地での整備の実現。

(2) 災害時の緊急輸送道路安全確保推進をします。

◎路面下空洞化対策、道路液状化対策の推進。

(3) ゲリラ豪雨対策充実を推進します。

◎重点対策河川として野間川、濁川水系の改修。

(4) 液状化対策拡充を推進します。

◎甲府市液状化危険度大地域への対策。

(5) 甲府市防災公園建設を推進します。

◎甲府市ごみ処理施設、跡地の活用。

(6) 甲府市の発達障がいへの施策拡充

◎甲府市障がい者計画への位置付け。

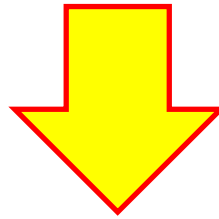
(7) 子どもの貧困対策の拡充

◎断片的で無い、保護者も含めた総合的な対策。

(8) 議会改革の推進。

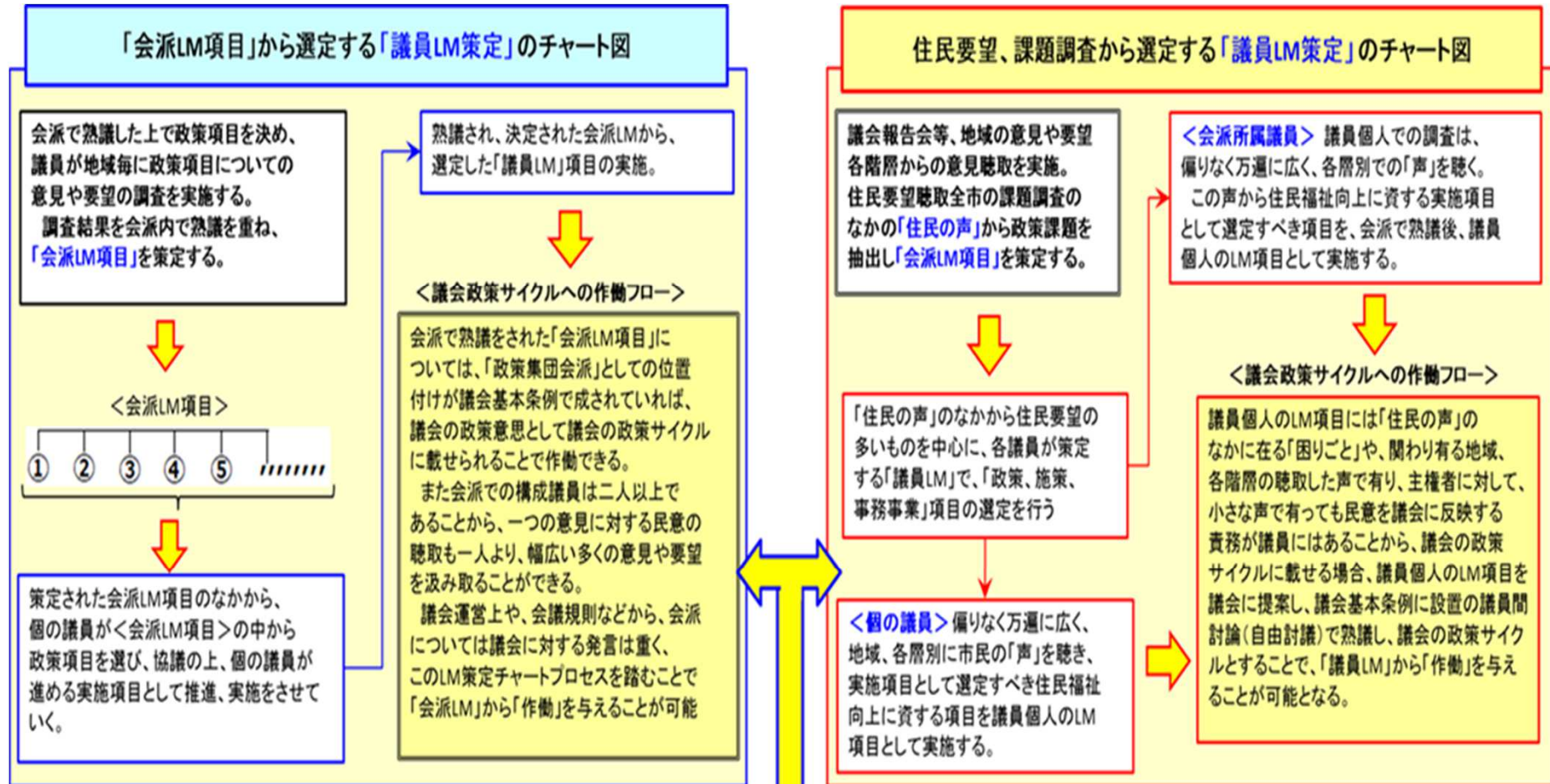
◎ 議会基本条例等の規範制定。

会派・議員2線式LM策定の複線化 モデルフローの必要性



= LM発での「議員政策立案力向上」
議会のボトムアップへの可能性 =

会派・議員2線式 LM策定の複線化モデル フロー



LM発、議員政策立案力向上で、議会全体のボトムアップの向上。
 個の議員策定のLMを議会に提案し、議員間討議ができれば、
 議会全体の意思として、政策サイクルに載せていくことも可能と出来る。

「解決したい課題」とは何か ？

= 推進すべき「重要政策」であり

= LM 項目に掲げ、推進すべき政策！

**MANIFESTO
SWITCH**



次にどうしても必要なことは

② LM を推進・実現するための
「マネジメント システム」が
必要。



LM 政策サイクル 進捗の管理で 政策を推進する

- LMを具現化し、実現に向け推進するためにはマネジメントが必要。
- 「マニフェストSW甲府」と「重点施策8項目」で掲げた、それぞれのLMを「LM政策サイクル管理計画進捗表」を使い、年毎、1期4年間で進捗度をカラーチェックし、達成度を含めた時間軸の管理を「可視化」した「マネジメントシステム」で実施。
- PDCAの進捗管理を、LM政策サイクル管理計画進捗表にて進捗度、達成度含めた進捗マネジメントを実施、繰返して政策提言を行い政策品質を高める。「単線的で無く複線的な政策提言」に拠る発言管理と、より高い政策品質の熟成（政策品熟）に重要な、実行、評価、改善のフローによる「政策マネジメント」を実施。
- 毎回の議会、委員会発言は個人HP上でも質問・答弁を含め全公開する。住民の衆望に応えることを目的に、議員個人が何を考え、発言したか明確にする「政策練度の可視化をマネジメント」する。

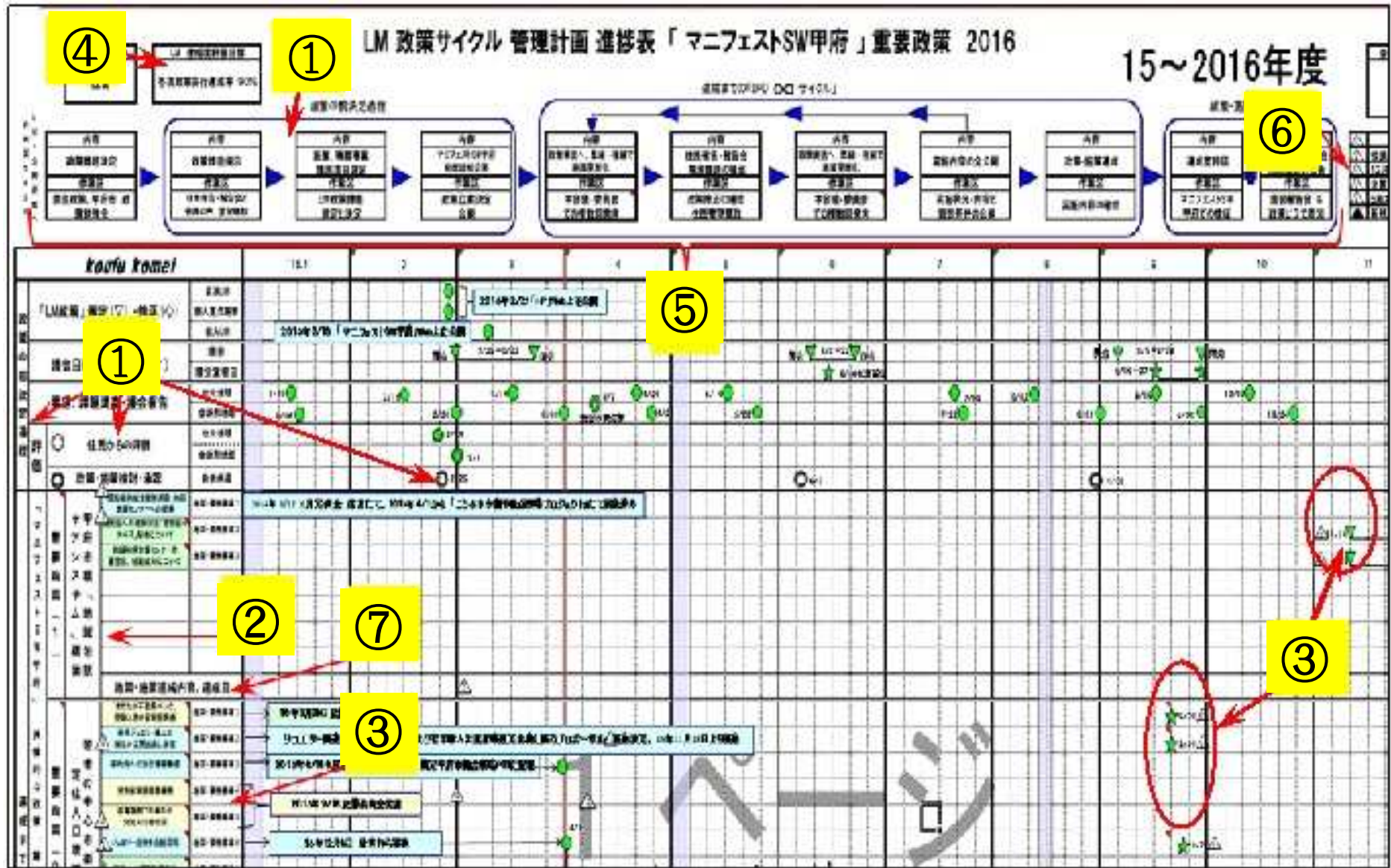
月々日々に行う進捗管理と、住民への報告体制の確立。

- 政策の実現が満足されたか、フォーマット内容、進捗の可視化の重要性から、管理項目 ① ～ ⑩ とした。決めた。

- ① 「政策の前決定過程」項目に「LM策定・修正」「議会日程」「住民、市民からの意見」「住民、市民の評価・承認」を時系列で管理。
- ② LMとして、マニフェストSW甲府で掲げた「LM重要政策」3点を明記。
- ③ LM重要政策の右軸に実効させるための施策・事務事業項目を明記、発言を時系列管理。
- ④ LM重要政策の達成目標として、全体達成率を記載。
- ⑤ LM重要政策推進のため「政策課題決定 ⇒ 政策の前決定過程 ⇒ DPD[∞] サイクル ⇒ 政策・施策 達成度評価」を公約達成へのLM政策サイクルとしてPDCAで廻し実施。
- ⑥ LM策定、修正改廃と、議会での発言をサフィックス、通し番号の時系列で可視化。
- ⑦ 何時の発言で、何の結果が、何時できたか「政策・施策達成内容、達成日」明記。
- ⑧ 進捗度確認をカラーチェックで確認。「緑」が1年間中で発言された施策、事務事業項目、「黄色」が進捗未対応であることを示し、進展無しでは注意が必要として、進捗管理が必要な施策、事務事業項目、「水色」が政策実現された項目としている。
- ⑨ 議員が政策推進の担当、管理者が進捗確認する「月例チェック」、管理者は会派の場合は会派代表、個の議員の場合は、それに代わる支援者代表が良い。
- ⑩ 管理者が不在でも、当初目的の自己管理で完結できればよしとする。

計画策定、LM 実現へ向け、政策品熟と工程管理マネジメントの実施①

【 LM政策サイクル 「マニフェストSW甲府」 重要政策 (1) ~ (3) 管理表 】



計画策定、LM 実現へ向け、政策品熟と工程管理マネジメントの実施②

koufu komei		*16.1	2	3
政策の前決定過程	「LM政策」策定(▽)・修正(◇)	資源LM 個人重点施策 個人LM	● ● 2015年3/13「マニフェストSW甲府」Web上に公開	● ● 2015年2/27「HP」Web上で公開
	議会日程(発言議会は☆)	議会 議会登壇日	閉会	2/19~3/22 閉会
評価	要望、課題調査・議会報告	地元地権 会議別地域	1/13 ● 1/15 ●	2/15 ● 2/20 ● 2/20 ● 3/1 ●
	① 住民からの評価 ② 政策・施策検討・承認	地元地権 会議別地域 資源承認	● ● ●	● ● ●
達成までの「D.O」	「マニフェストSW甲府」 重要政策(1) ケアシステム「地域包括」	認知症・障害者福祉「包括支援センター」への設置 認知症への認知対応/認知症ケアバス「配布」について 地域包括支援センター運営強化、補助拡大について	2014年6/12 6月定例会 発言にて、2015年4/1から「こうふ事業創り重点戦略プロジェクト」に	
	若者の中心市街地への 定住人口増加策 重要政策(2)	政策・施策達成内容、達成日 まちなか不動産バンク 空き家実態調査 若年ジェネリー職人の 街なか工房出店と定住 県内外への定住情報発信 空き家実態調査業務 産業振興での街なか 交通人口増化策 ジェネリー区空き店舗活用 若者への婚活支援実施 新婚家庭への補助制度 人口増化戦略	③ 16年9月20日 決算委員会で 2回目 ジェネリー関連店舗等リノベーション及び若年職人出展者等選定業務に係るプロポーザル 2015年6/16 6月定例会 発言→16年3月策定甲府市総合戦略P11に記載 9/16 決算委員会 発言 15年12月8日 発言から実施	● ● ● ● ● ●

①

⑥ ①

②

⑦

⑧

③

計画策定、LM 実現へ向け、政策品熟と工程管理マネジメントの実施③

【 LM政策サイクル「重点施策」 8項目管理表 】

LM 政策サイクル 管理計画 進捗表 2018年度「重点施策」



koufu komei		17.1	2	3	4	5	6	7
① 動物園整備	動物園整備事業スケジュールについて	施策・事務事業1	2015年3/6 3月本会議、委員会発言～2回にて、6/24日の甲府市策定委員会にて動物園整備は現在地での整備で決定					
	市当局の動物園整備スタンスを示す事が重要、現在地での実施について。	施策・事務事業2	2015年6/166月定例会発言～2回目					
	動物と言う特殊性と高い技術を要する技術職員確保と獣医確保について。	施策・事務事業3						
	甲府市全体の動物園について、本市としての「ありたき姿」について	施策・事務事業4						
	動物園とエリア周辺地域活性化の街づくりと併せ行うことについて	施策・事務事業5						
	獣医増員、新規採用と、職員の新たな制服採用について。	施策・事務事業6						
政策・施策達成内容、達成日	2014年～継続							
② 緊急輸送路安全対策	市立甲府病院周辺「緊急輸送道路」マンホール浮上の液状化対策について	施策・事務事業1						
	市内の「市指定の緊急輸送道路」マンホール浮上の液状化対策について	施策・事務事業2						
政策・施策達成内容、達成日	2014年～継続							
③ ゲリラ豪雨対策	ゲリラ豪雨等に対応する、農業用水路改修について	施策・事務事業1	2015年9/16 決算特別委員会発言⇒ H30年3月予算、6款農林水産業費、玉詔左岸排水機場排水ポンプ改修事業費 3,400万円余計上					
	水管発生時の「事前防災計画」と「ハザードマップ」策定について	施策・事務事業2	「事前防災計画」「ハザードマップ」策定⇒ H30年3月予算、9款消防費、洪水ハザードマップ作成事業費 3,800万円計上					
政策・施策達成内容、達成日	2012年～継続							
④ 液状化	液状化大地域の耐震改修促進計画について	施策・事務事業1						

2017 達成中

「進捗管理実施、住民報告、発言管理」のマネジメント

- 政策提言は、単線的で無い複線的な議会での政策提言の実施、より高い市民満足度向上を目指しLM重要政策の実現まで政策品質向上に拠るLM政策項目のクォリティーを高める。
- このため「LM政策サイクル管理計画進捗表」でLM重要政策を議員個人がPDCAで廻し、発言で政策を練り上げる改善を続け、会派や議員個人で可能な「政策進捗のマネジメント」でLM政策・施策の実現度を高める。
- ①議事録、②報告会、③マニフェスト項目、④達成度、⑤実績内容は、①～⑤の項目を添付記載し、政策サイクル実績の正統性可視化のため、議会毎に全公開し「住民への報告マネジメント」で透明性を高める。
- 各議会、委員会、予算・決算審査の特別委員会等では、大日程表であるLM政策サイクル管理計画進捗表とは別に、小日程表を「日別発言表」を策定、臨機応変とは別な成り行き発言を防止、「発言項目のマネジメント」で推進がより明確化される。

もう一つ、どうしても必要な

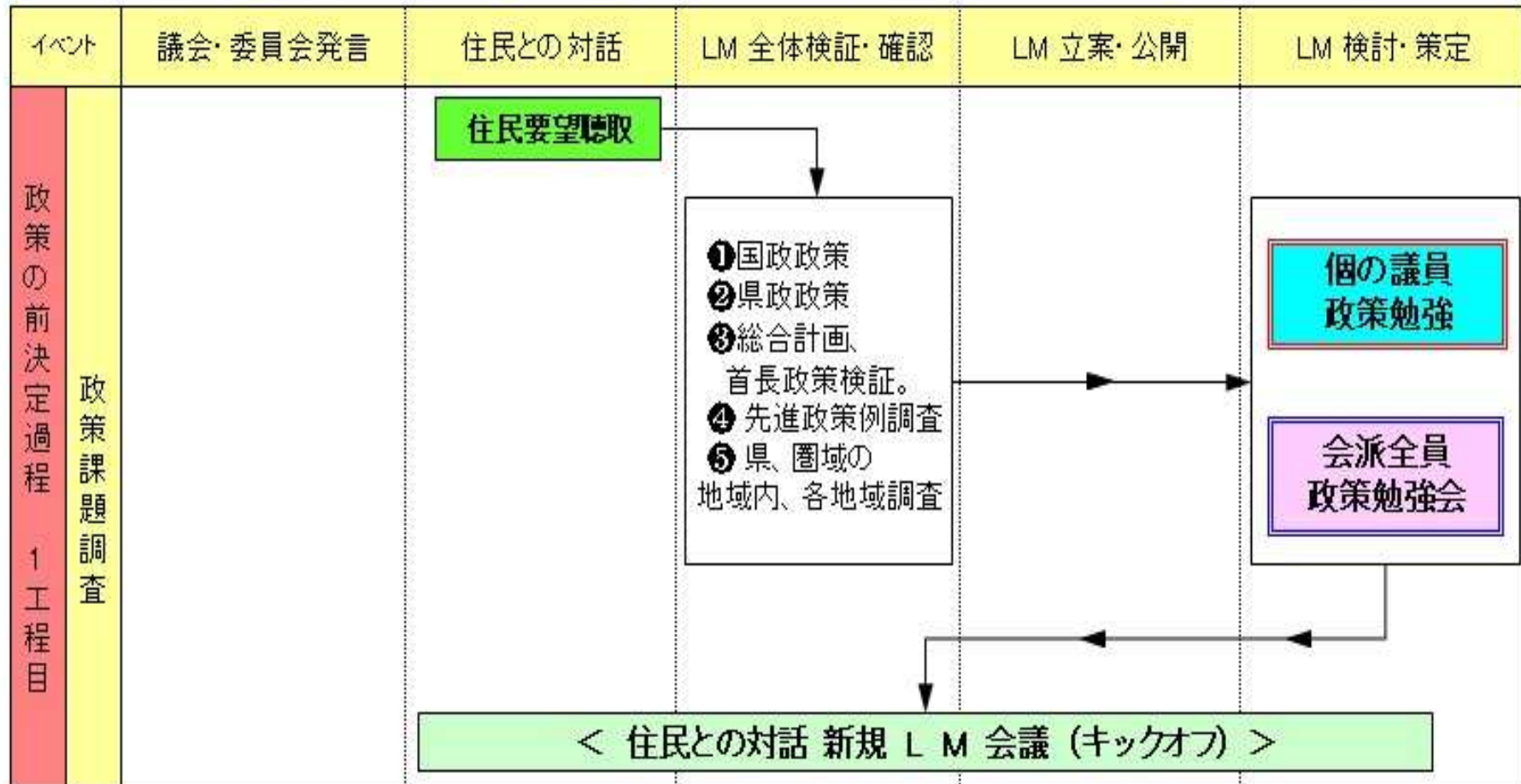
③ マネジメントシステムを
運用していくための「フロー」
が必要。



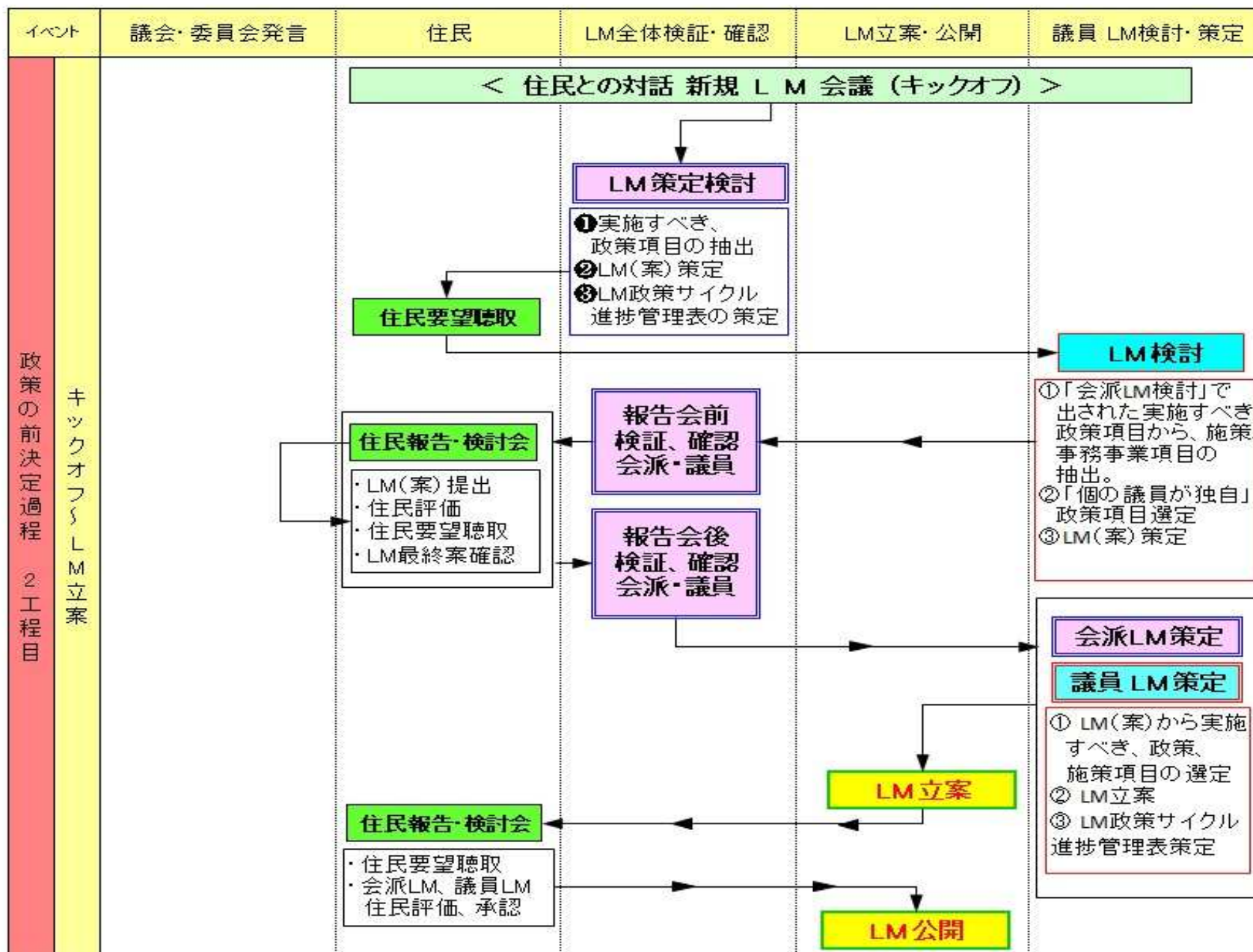
「LM の策定・公開」の上で、住民の声を聞くフロー

- 「住民の声を聞く」ことを起点とし、政策の土台とする。その上で政策を練り上げ、ローカル・マニフェスト策定フローに載せる。
- 市民協働が重要ポイントで、政策を練り上げる = 政策の品質を熟成して造り上げる流れ（フロー）。
- 具体的なLM推進フローとして、
 - ①期毎4回、年1回開催の地元地域での住民報告会での意見聴取。
 - ②毎月開催の支援者会合と地域からの住民要望で政策課題の抽出。
 - ③議会発言毎に報告会で報告し、地域、支援者からの意見聴取。
 - ④日常的に実施の市民相談で意見聴取。
 - ⑤アンケート調査の実施。
- 市民と共同して、年毎にLMを工程管理し、1期4年間で推進していくフローチャートの確立。

政策の前決定過程 ① サイクル フロー



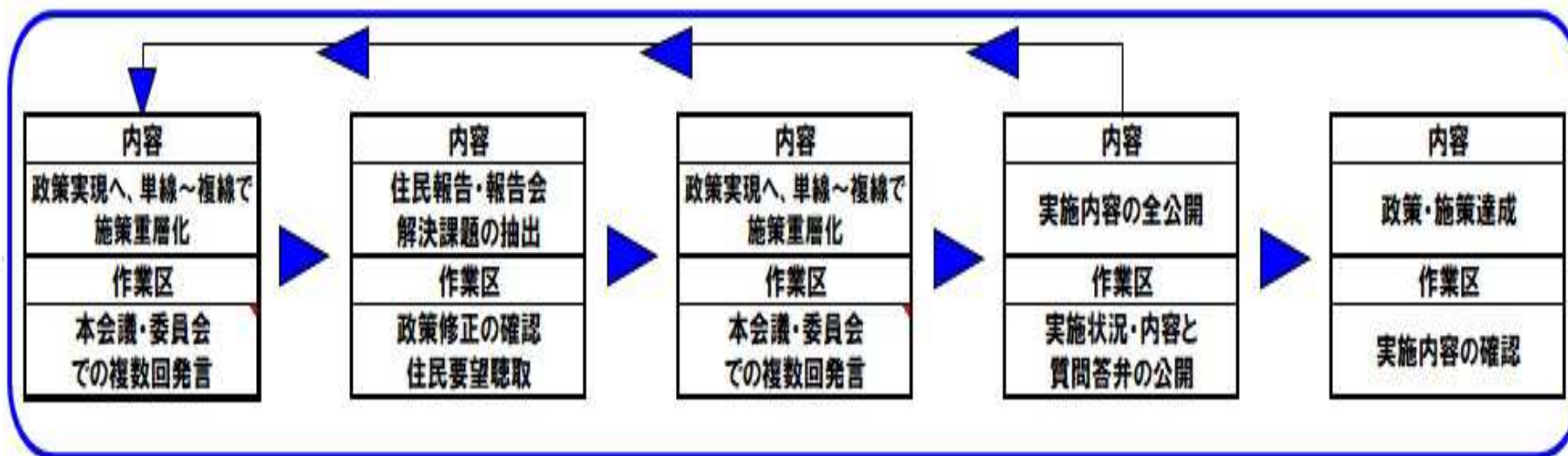
政策の前決定過程 ② サイクル フロー



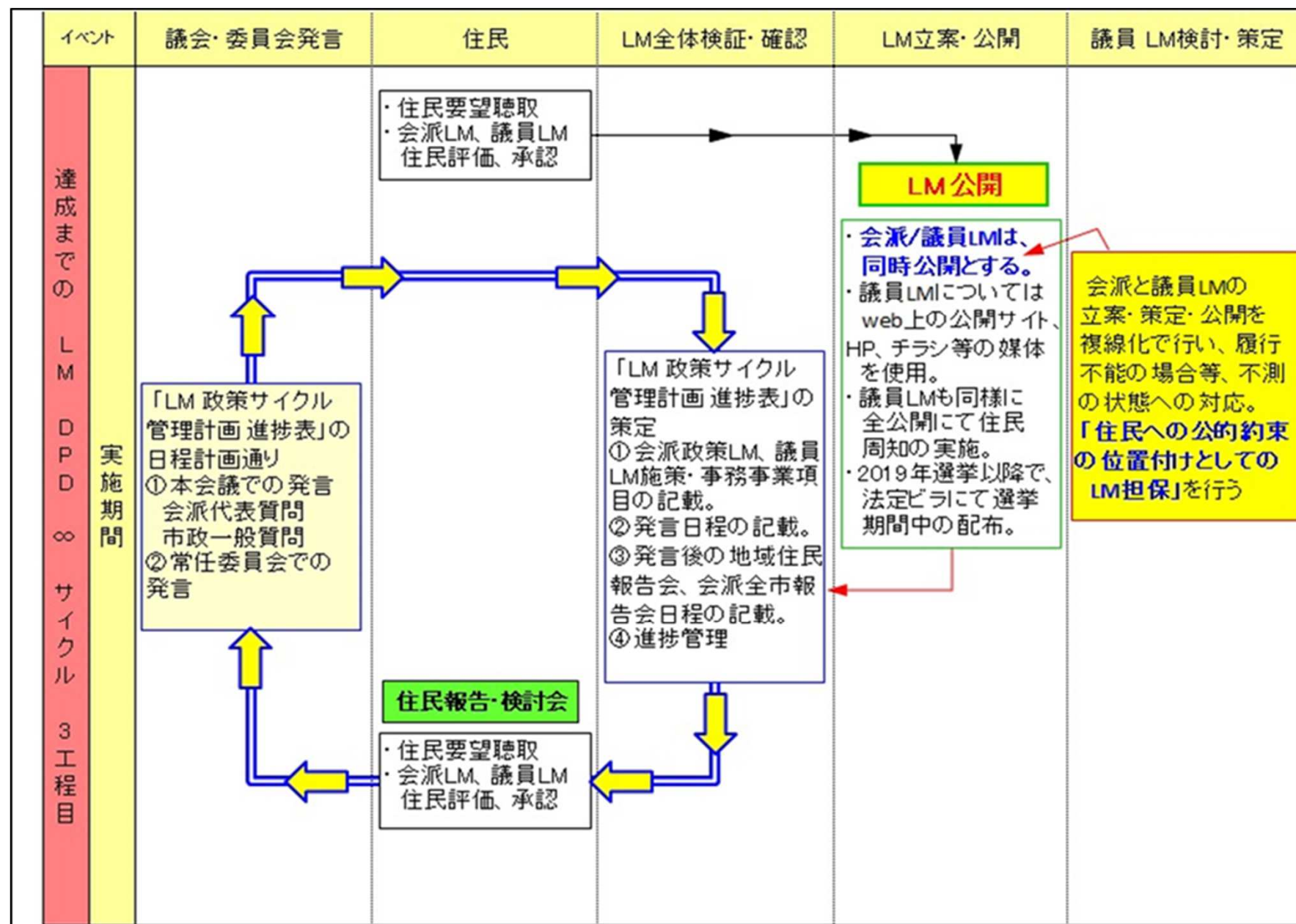
月々日々に行う進捗管理、住民への報告体制の確立。

- 「議員LM政策サイクル」は、重要な位置づけとして、住民要望の議会提言ルーティーンとして「報告会『Debriefing session』～本会議、常任委員会、特別委員会等で政策提言『Policy advice』～再度の報告会開催『D』」を∞ルーティーンで実施する。この図式はマニフェストSW甲府、重点施策、それぞれの管理表にも記載。
- LM 修正必要の場合は政策をサフィックスし「DPD^{無限}サイクル」をPDCAで廻し、再度住民に報告する。

達成までの「DPD ∞ サイクル」



住民とのLM循環DPDサイクル フロー



現状での施策推進状況としての、

④ LM をマネジメントした
「**達成度確認**」が必要。



解決するための重要政策 (1)

- 発言した施策項目は6項目
- 達成度 3/6 項目
- 50%

解決するための重要政策 (2)

- 発言した施策項目は10項目
- 達成度 8/10 項目
- 80%

解決するための重要政策 (3)

- 発言した施策項目は4項目
- 達成度 4/4 項目
- 100%

(2018年8月現在)

重要政策 (1)	甲府市版「地域包括ケアシステム」構築	「認知症地域支援推進員」包括支援センターへの配置	施策・事務事業 ①
		認知症への周知対応「認知症ケアバス」配布について	施策・事務事業 ②
		地域包括支援センター市直営化、補助拡大について	施策・事務事業 ③
		現場からの意見を取り入れる庁内体制構築について	① 施策・事務事業 ④
		介護予防の観点からの必要な支援について	① 施策・事務事業 ⑤
		認知症対策の取組内容の周知について	① 施策・事務事業 ⑥
政策・施策達成内容、達成日			
重要政策 (2)	若者の中心市街地への定住人口増加策	「まちなか不動産バンク」登録と空き家実態調査	施策・事務事業 ①
		若手ジュエリー職人の街なか工房出店と定住	施策・事務事業 ②
		県内外への定住情報発信	施策・事務事業 ③
		空き家実態調査業務	施策・事務事業 ④
		産業振興での街なか交流人口増化策	施策・事務事業 ⑤
		ジュエリー店空き店舗活用	施策・事務事業 ⑥
		若者への婚活施策実施	施策・事務事業 ⑦
		新婚家庭への補助制度	施策・事務事業 ⑧
		人口増化戦略策	施策・事務事業 ⑨
		若年子ども子育て世帯への移住促進、減免、家賃補助	施策・事務事業 ⑩
政策・施策達成内容、達成日			
重要政策 (3)	がん教育授業の実施	がん教育授業の実施	施策・事務事業 ①
		がん教育授業の実施 2-1	施策・事務事業 ②
		がん教育授業の実施 2-2	施策・事務事業 ③
		がん教育授業外部講師拡充と会議体実施について	施策・事務事業 ④

LM推進表での「カラーチェック」で判定

「達成度」は可視化し、単純な数値化が必要

- 「達成度」の評価、確認は難しいのだが、今回はルール設定を実施。
 - (1) 始めにLMで掲げた「重要政策(1)~(3)」の項目を実現させるため、政策を分解して、施策、事務事業項目を積み上げていく。
 - (2) それぞれの施策について、答弁、予算措置、施策実行状況、等で確認の上、実施された項目を推進管理表上でカラーチェックし、その状況を1期4年で「水色」が幾つ出来ているかで判断する。
 - (3) 公共政策での、政策、施策、事務事業、の「**政策の階層性を使用した進捗と達成の可視化**」で実施。
- 公共政策の階層性で、政策を練り上げる = 政策の品質を熟成して造り上げる流れ（フロー）で達成させていく。
- 達成度も市民と共同して、年毎にLMを工程管理し、1期4年間で推進していくフローチャートを確立する。

LM について目指すべき、
「ありたき姿」



LM についての方向性、識者の見解

< LMについての方向性と見解 >

- ローカル・マニフェストによる投票は政策による論争を生み出すと共に、首長や議員を拘束することになるからである。

江藤俊昭, 『図解地方議会改革実践のポイント100』学陽書房, p 143.

- 首長選挙から始まった政策中心の選挙。増田マニフェストの衝撃、「お願い」するのではなく～「あれかこれか」の選択を迫るという政策中心の選挙を行ったのである。

北川正恭, 『マニフェスト革命』ぎょうせい, 2006年, p 32.

- 多元的な住民の利益を政策に反映させることこそ議員の役割と考えられる。(中略) 有権者全ての陳情や懇請を受け入れる公約よりも「できる、できない」を峻別し、できることの実行を約束するLMが導入されることで、議員は今以上に高い能力を要求される。

株式会社UFJ総研, 『ローカルマニフェストによる地方のガバナンス改革』, ぎょうせい, p 162.

LM について目指すべき、「ありたき姿」

< ありたき姿 > ストーリーテリング

- 今後に於いての地方議員選挙では、公職選挙法一部改正でのLM位置付けとして、政策ビラ頒布が、町村を除く県、市に実施出来ることから、法的根拠を持つ政策ビラである。ここから「単なる政策ビラ」で無く、選挙期間中の主権者にも、政策選択選挙のアイテムとして使えるように、結果の記載を含め、民意の要求に耐えられる内容としていく。
- 個の議員、会派としてLMを掲げ進捗を管理することで、実現へ向け努力が始まる。此処から住民の信託に対し、更なる力が発揮される。議会として議員の政策を作る力が向上すれば議会全体のボトムアップが図られ、二元的代表制の議会として、機関競争主義が今以上に進む。議会力Upは当然のことながら、会派、議員から、住民福祉向上を、より重層的に推進されていく。この後の展望として、議会の政策サイクルへの連動も射程に入れられる。
- 住民には、住民福祉向上の結果が見えることで、結果を通し、議会全体に対し、より一層の信頼を得ることに繋がる。この様にLMは重要な位置づけとされ、LMは住民福祉を進める最善のアイテムとなる。

2018年 マニフェストアワード、マニフェスト大賞にて 「優秀マニフェスト推進賞」を受賞いたしました

- 2015年から実施を開始しました、この本稿検証実験である、
「個の議員が自らのLMを管理推進することにより、議会全体に対し、より一層の信頼を得ることに繋がる。この様にLMは重要な位置づけとなり、LMは住民福祉を進める最善のアイテムとなる。」との内容が評価された。政策により、住民福祉向上の結果が見えれば、結果を通し、住民満足度が向上することは最善である。今後に於いても、議会と首長の二元的代表制による、機関競争主義での善政競争、候補者間での善政競争の活性化や、良い意味での激化は、主権者大衆に必要である。
- 今まで言われ続けて来た、「議員の公約は嘘が多い、選挙が終われば何をしているのか実績の報告が無い」との弊害は、住民大衆と協働してLMを推進すれば、その悪評価を打破できるものである。
- 何れにせよ、議員は、大衆全体から「信託」されているという重みを感じ、更なる住民福祉向上を目指すべきである。
- 今回の受賞に際しまして、この4年間に渡り、常に叱咤激励を頂いた、市民代表の青木松美さんを始めとして、行く先を示して頂いた、北川正恭先生、理論をご教示頂いた、江藤俊昭先生には、心から感謝を申し上げ、衷心よりの御礼を申し上げます。